

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
●授業計画書（シラバス）の作成過程 授業の概要、到達目標、各回のテーマと内容、使用教科書・教材、評価基準（試験・レポート・発表・授業態度）と評価率から成る。 ●授業計画書（シラバス）の作成時期 作成時期は1月頃、公表時期は3月頃としている。	
授業計画書の公表方法	事務所内に備え付ける。 http://reha.aoike-toyama.com/で公開している。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
試験、レポート、論文の成果を点数（100点満点）に換算し、学則に明記されている基準に基づいて学修成果を評価。 レポート、論文は、 ①提出期限の厳守 ②規定に沿った作成方法 ③誤字脱字の有無 ④テーマに合った内容 ⑤参考・引用文献の活用度合い の5項目について点数化し、評価している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 客観的な指標として、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)。 成績分布は、指標の数値として、 不可：～59点 可：60～70点 良：70～80点 優：80～99点 秀：100点 の該当人数を記入。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	事務所内に備え付ける。 http://reha.aoike-toyama.com/で公開している。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ●理事長、校長、学科長または主任で卒業認定会議を開催。 ●学則に明記されている卒業認定基準を満たしていることを確認。 ①出席時数の確認 ・当該科目の授業時間の2／3の履修 ・実習については4／5の履修 ②当該科目の学修成果の確認 ③卒業認定試験の成績確認	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学則として事務所内に備え付ける。 http://reha.aoike-toyama.com/で公開している